



何かに情熱を注いでいる方を紹介します

私とピアノ 宮川 ^{あおり}葵凜さん（柏小学校6年）



▲自宅リビングでピアノに向かう宮川葵凜さん。参考動画を見て表現方法を研究するなど、積極的な姿勢で練習を続ける。



“ピアノの音色を奏で全国へ羽ばたく”

2月7日(土)と8日(日)に東京都で開催された「第16回日本バッハコンクール全国大会」において、小学5・6年生部門で金賞およびヘンレ賞(部門第1位)に輝いた柏小学校6年生の宮川^{あおり}葵凜さん。

宮川さんがピアノを始めたのは4歳の頃。お母さんの勧めをきっかけに「はまみ音楽教室」に通い始め、初めて演奏した「あひるのさんぽ」が、その歩みの原点となりました。教室が休みの日でも平日で約3時間、休日には5時間ほど自宅で練習に励んでいる宮川さんは「大きな楽器を自分一人で操っている感覚になれるところが、ピアノの魅力です」と、笑顔で語ります。

宮川さんがこれまでに出場した数々のコンクールの中でも、特に印象に残っていると話すのが、今年1月に東京都で開催された「第27回ショパン国際コンクール in ASIA」です。小学5・6年生部門で金賞、さらにアジア大会で奨励賞を受賞。「課題曲の中から、お母さんの好きな『幻想即興曲』を選んで挑み、先生から指摘されたポイントを意識しながら演奏して、入賞できたことがとてもうれしかった」と当時を振り返ります。

さらなる高みを目指す宮川さんにとって、周囲の支えは大きな力となっています。家族にとって自宅に響くピアノの音色が日常の一部となっており、その努力を温かく見守っています。ピアノコンクールで入賞を重ねるたび、学校の友人から応援や祝福の声をかけられ、これまで以上に心強さを感じながら舞台上に立っているといます。すでに夏のコンクールに向けた課題曲の練習に取り組んでいる宮川さん。「あと15年くらいは続けたい」と語るその瞳には、次なる目標に向かう強い意志が宿っており、今後のさらなる活躍が期待されます。

編集後記

4月から広報の担当になりました。最初の取材地である辞令交付式では、1年前の自分を思い出し身が引き締まる思いでした。初心を忘れず邁進します。先日、情報提供をいただき一本松のレクザム付近へ。両脇から咲き誇る桜のトンネルの美しさに圧倒され、地元ながらまだ知らない愛南の魅力が沢山あるのだと実感しました。

これから皆さんの元へ、町の旬な情報をお届けしていきます。どうぞよろしくお願いたします！

約一年半ぶりに帰ってきた『あいなん逸品図鑑』。今回紹介したキャリートップは、私も幼少期から慣れ親しんでいた思い出のある逸品です。ある日のインスタで、県外のかんきつ農家さんが配信した作業動画を見た人が、「倉庫で使っている便利そうな道具は何だ」と反応している様子を見て、すぐ大野工業さんに取材のお願いに向かいました。マニアックな逸品ですが、地元でこんな発明品が生まれていたのかと読んで知ってもらえると嬉しいです。 M

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

愛南町の世帯数と人口
令和8年4月1日現在

世帯数	9,649世帯 (-25世帯)
人口	17,886人 (-136人)
男	8,494人 (-57人)
女	9,392人 (-79人)
愛南町の高齢化率	48.0%
※ () 内は前月比	
10年前同月の人口	22,843人

<https://www.town.ainan.ehime.jp/>